

やで、御開山の御高德に依て、御一生の間に、耳にした御奇特は、大變な澤山で、中々書き記す違がない、今日でも二十四輩の事歴は申までもなく、越中、越後、常陸、等の事歴が、澤山あるけれども、覺如上人が、其れを一々御擧げなされず、せめては川越ひの名號のここか、或は三度栗のここか、二十四輩中の、一二でも御出しなされてよさソーちやに、上下二巻の中には、聊かも是等の事歴を御出しなされぬのは、云何なる次第かと云へば、御開山の無量の御徳を攝めること、三つとなる、一には本願相應の徳、二には眞宗興行の徳、三には滅後利益の徳である又御傳鈔を自行化他で分けて見ること、上巻は自行の益を明し、下巻は化他の徳を御示しなされたものちや、して本願相應の徳が理想として上下二巻を貫通し、事實として顯

はれたのが、上巻の第八段で、化他の徳の中に於て、下巻第七段が滅後利益の徳で、前六段が眞宗興行の徳である、其中でも正しく眞宗興行の徳の顯はれてあるは、第一段と、第二段である、第三段已後は、化他の徳でありて、正しく第三段に於ては、板敷山の深山で彼山伏が御開山を殺害せんとしたが、禪室に於て御開山の御相たを拜み申して、邪見を翻じて他力本願に歸した一段にて、是れ化他の徳である、其次は箱根の權現が、御開山を饗應なさる一段で、即ち冥衆護持の益を顯はされたもの、又平太郎の段は、御開山の御化導を被りしものは、平太郎の如き振舞をせねばならぬこと、末世末代の我々に、大谷に流れを汲むの、門徒同朋は、平太郎を手本にせよとの御心である、覺如上人が、御傳鈔上下二巻、略して見れば三徳の

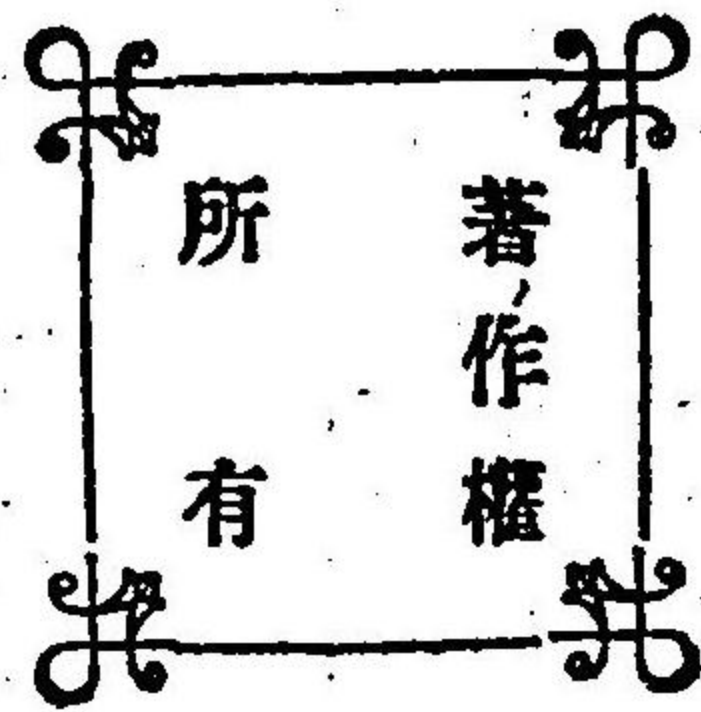
外なし、御開山の御高德、皆此中に攝まらざるなしと思召處より、此三徳の意に基きて、御認め下されたが、御傳鈔上下二巻ゆへ、眞宗に流れを汲む者は、深く御開山の御高德を知り、御恩の程を思ひ念佛すべきである、今此御傳鈔の御意を話して有縁の人に聞かせしむるは、せめては報恩の爲に、念佛の助縁に、具へんこと、淺學を願みず、聊か御意の幾分を、筆にす見る者言文の麁粗を咎めず、予が微衷のある處を瞭し給はんことを。

南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛、南無阿彌陀佛

御傳鈔卷下終

明治四十二年十一月十二日印刷
同 年十一月十六日發行

御傳鈔 奥附
定價金七拾五圓



著作者 藤谷 遠由
發行所 西村 七兵衛
京都府下京區中條敷屋町烏丸東入
二十人町二十二番戸

發行所 京都市東六條(電話貳貳五八番)法藏館

發賣所 大坂柳原 名古屋星野 東京文山堂
京都護法館 京都法林館 東京舞我山房 森江書店 廣島洗心書房
京都興教書院 京都顯道書院 東京光融館 鴻盟社 名古屋文光堂

擬講 藤谷還由師著

新案 式文

全一冊 定價貳拾五錢

仰げば愈高き吾宗祖親爲聖人の威徳能くこれを讃嘆し、
得て餘すなきは覺如上人式文なり今や宗祖御遠忌眼前
に迫れる時に當り幾多新案苦心の餘時世適切の嶄新な
る材料によりて傳記を縦とし信仰を横とし圓轉自在の
説教を試み以て聖人の活精神を發揮せり敢て新進布教
家の一榮を博す

擬講 朝倉了昌師新著

四十八願法話

定價參拾五錢

布教界天下獨歩の名ある朝倉擬講百鍊千磨一句
の贅語を容れざる妙談精話本書に發表せられて
敢て滿天下布教家及び求信者の渴仰を醫す而も
其題目の既に六八本誓なるに至りては信仰の源
泉滾々溢れて盡さざる也

學師 藤谷還由師著

極樂世界觀

定價貳拾五錢 郵税不要

世人 徒らに極樂淨土を疑ひ怪むも更に其
真相を知らず願往生の信者ま
境に詳しか憂憤の餘多年の經釋
し出入東西舊新の思想を調
和し來つて本書を世に
提供す之を讀まは 疑雲忽ち晴
れて正樂土に逍遙せむ

學師 藤谷還由師著 (第二版)

靈魂 彌陀 有無觀

定價拾貳錢 郵税不用

最も古くして而も新 信仰上三
大疑問とは是れ來世靈魂の
不滅は如何に證明 彌陀の實在
は之を如何に證 地獄極樂の有
無は之を如何に證 明快なる根
本的解決は本書
にあり

發行所

京都市東六條

電話二二五八番
口座貳五四番

法

藏

館

戰後布教適當書發行報告

學師 藤谷還由師 新著

新案 說教 現世利益和讚

全二冊 正價五十錢 郵稅不要

戰後布教 於最も時世要求 迎せらるは 人生社會に最も
 して直に人心に 現世的信仰 ありて 厭世隱遁主義は既に時代
 慰安を興ふべき 現世利益の 本義を明にして 活世界に
 且つ二諦相依は 眞宗の本旨に 現世利益の 本義を明にして 活世界に
 もあらず 著者茲に見るありて 現世利益の 本義を明にして 活世界に
 慰安 幸福の生活を 得へ新例 證げ又新譬喩を 陳て 理致明白
 に 縦論横論 懇篤親切 極む必ず 需要に 満足 せん 況ん 斯界龍象
 して最も 懇篤親切 や天下の 需要に 満足 せん 況ん 斯界龍象
 たるに於てをや必ず 保證せむ

藤谷還由師著

發行所 現世祈禱論

京都市東區六條 電話貳貳五八番

全一冊 正價貳拾錢

郵稅 貳錢

藏館

學師 藤谷還由師新著

新案 說教 王法爲本

全一冊 定價貳拾五錢 郵稅不用

今や日本の 新氣運 勃興せる 活動的社會に於て時機相應活潑の 新布
 教を試みんとするには徒に 無常悲觀を説き當に舊式なる 宗意安心を
 教ゆのみにては到底 有爲活潑なる 青年實業家等に 満足 せる能はず著者此
 に深く見るあり自ら新布教の陣頭に立ち 多年蘊蓄の 材料を 慎重し主とし
 て 俗諦王法につき博く東西の事實を列擧し歴史傳記等の 實例明證を引
 き之により 眞宗道德の 精髓を發揮せり本書出て、正に 時代要求の 新
 參考書は 満足せらるべし

259
744

布教會員大會募集

今や日本國民は戰勝後の氣運此に一大發展を爲さんとす、眞に布教家諸君の活潑に勇猛に一大奮闘を爲して自ら教線を擴張すべきの好機也。而も布教家現時の覺悟に於て最急務なるは時勢に適切なる活資料也、陳腐時世遅れの舊辨古材を棄て、嶄新豊富なる教材を得るに在り是れ諸君が戰國準備の充實にして滿天下布教家の熱望也、急需要也茲に教界の驍將學界の龍象藤谷還由師主幹の下に、説教百科全書を發行して、會員に服たんと欲す、其新案の意匠、藤谷還由師主幹の精選是れ本館が從來の出版に徴して必ずや諸君の満足と歓迎を期す、布教家諸君奮て入會せられよ。

藤谷還由
師主幹

説教百科全書

逐編 ▲每編二百頁内外
▲隔月一回發行
▲一年分六冊發行

學師藤谷
還由著

編一第	編二第	編三第
新案 説教 南無阿彌陀佛	極樂世界觀	新案 説教 一枚起請文

定價貳拾五錢
郵稅 不用

布教會略則
申込所

▲入會希望者は之を見落す勿れ ▲會員は毎年會員費壹圓貳拾錢を納むるものとす ▲會員には「説教百科全書」を無代配送す
京都市東六條
法藏館内
布教會

